自己点検・評価報告書

平成29年3月22日現在

大原スポーツ公務員専門学校盛岡校

平成29年3月22日作成

責任者　橋本　次郎
記載者　杉崎　和明

目　次

基準１　教育理念・目的・育成人材像 1

1-1　理念・目的・育成人材像 2

基準２　学校運営 3

2-2　運営方針 4
2-3　事業計画 5
2-4　運営組織 6
2-5　人事・給与制度 7
2-6　意思決定システム 8
2-7　情報システム 9

基準３　教育活動 10

3-8　目標の設定 11
3-9　教育方法・評価等 12
3-10　成績評価・単位認定等 13
3-11　資格・免許の取得の指導体制 14
3-12　教員・教員組織 15

基準４　学修成果 16

4-13　就職率 17
4-14　資格・免許の取得率 18
4-15　卒業生の社会的評価 19

基準５　学生支援 20

5-16　就職等進路 21
5-17　中途退学への対応 22
5-18　学生相談 23
5-19　学生生活 24
5-20　保護者との連携 25
5-21　卒業生・社会人 26

基準６　教育環境 27

6-22　施設・設備等 28
6-23　学外実習、インターンシップ等 29
6-24　防災・安全管理 30

基準７　学生の募集と受入れ 31

7-25　学生募集活動 32
7-26　入学選考 33
7-27　学納金 34

基準８　財務 35

8-28　財務基盤 36
8-29　予算・収支計画 37
8-30　監査 38
8-31　財務情報の公開 39

基準９　法令等の遵守 40

9-32　関係法令、設置基準等の遵守 41
9-33　個人情報保護 42
9-34　学校評価 43
9-35　教育情報の公開 44

基準１０　社会貢献・地域貢献.....45

10-36　社会貢献・地域貢献.....46
10-37　ボランティア活動.....47

基準１　教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。 また、校訓を「感奮興起」と定め、この意味するところの「感動ある教育を施せば感謝が生まれ、奮闘させる教育を施せば成功という結果が導き出され、興味が持てる教育を施せば上達し、起動という心を引き出す教育を施せば自立できる人材に育つ。」が具体的な教育理念となっている。 この教育理念を実現するために、主に高校卒業生を入学対象としている専門課程と、大学生・社会人を入学対象とした社会人講座を二本柱にしながら、資格取得教育を中心に実務に対応できる人材の育成を行っている。 これら具体的な言葉で説明された教育理念・目的・育成人材像は、書籍や教育 COMPASS として全教職員に配布され周知徹底されている。その理念・目的の下で、教職員が質の高い教育を実践し、目指す人材を育成している。 また、理念や目的、また育成する人材像は入学案内パンフレット、WEB を通じて公表している。	全国に多数の学校を設置している学校法人であるが、教育理念・目的・育成人材像は書籍や教育 COMPASS の形で配布し、各部門・各部署で経験豊富な役職者より具体的な説明が定期的に行われ、全教職員に浸透している。

1-1　理念・目的・育成人材像

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
1-1-1　理念・目的・育成人材像は、定められているか	5	明確に定められている。	学園の教育理念が具体的な言葉で明文化されており、目的や人材育成像も明らかになっている。	特になし	・書籍 ・教育 COMPASS
1-1-2　育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	5	業界の求める人材を育成している。	学科ごとに教育目標、将来像を明確にするとともに、業界と繋がる実習やコンテストを実施している。	特になし	・コースガイダンス資料 ・就職ガイダンス資料 ・実習 ・各種コンテスト
1-1-3　理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	5	三段階教育法など、特色ある教育を実践している。	有為な産業人の育成のため『脱皮』『育成』『加入』の三段階の教育を実践し、「就職」と「資格取得」において高い実績を誇っている。	特になし	・三段階教育法 ・コースカリキュラム ・ホームページ
1-1-4　社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	5	中期的構想を定めている。	地域・教育内容に関するニーズの調査を基にした拠点展開とコース企画を中期的構想として記している。	特になし	・事業計画書等

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念・目的は書籍や教育 COMPASS として全教職員に配布され周知徹底されている。学園の特色の一つが『三段階教育法』であり、これにより他の学校法人の追随を許さない「就職」と「資格取得」の実績を生み、有為な産業人を育成することができている。この資格取得と就職実績をさらに向上させ、専門学校としての基盤を強化するために、社会の動向を的確に見極め、ニーズを調査・分析して事業計画を組んでいる。	全国に多数の学校を設置している学校法人であるが、教育理念などは書籍や教育 COMPASS の形で配布し、役職者より説明等により全教職員に浸透している。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

基準２　学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムが確立されており、学園全体の運営方針は理事会・評議員会で、また各校の運営方針は校長を中心とした運営会議で定められている。 また、その内容は全体朝礼およびイントラネットやグループウェアにて速やかに告知するとともに各課で周知徹底している。 学校の運営方針を反映した事業計画は毎年度作成されており、各部署では目標を達成すべく定期的にその内容と進捗とを確認し、必要ならば支援や計画の修正を行っている。組織および教職員の業務分掌も明確に規定されている。 人材の育成では、職能等級制度やＣＤ目標管理制度などの人材育成・処遇システムがあり、能力や職位に応じた適切な研修を実施している。特に教育の基盤をなす教員においては定期的・段階的な指導力向上研修を実施している。また、そのための人事関連の規定は明文化され、全教職員に配布されている。 ※ＣＤ＝Communication & Development	

2-2　運営方針

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
2-2-1　理念に沿った運営方針を定めているか	5	運営方針は明確に定められ、周知徹底している。	学園全体の運営方針は理事会・評議員会で定められ、その方針の下で各学校の運営方針を、校長を中心とした運営会議で定められている。 また、学園および学校の運営方針は全体朝礼およびイントラネット等で速やかに告知するとともに各課で周知徹底している。	特になし	・理事会決議録 ・評議員会決議録 ・運営会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学園全体の運営方針は理事会・評議員会で、また各校の運営方針は校長を中心とした運営会議で定められている。それらに基づいて部課長会議で詳細を決定し、その内容は全体朝礼で告知するとともに各課で周知徹底している。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

2-3　事業計画

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
2-3-1　理念等を達成するための事業計画を定めているか	5	目標達成のための事業計画は定められ、それに沿って学校を運営している。	毎年度、目標達成のための事業計画を作成している。 また、各部署の会議において、事業計画との差異を確認し、必要な調整あるいは手立てを行い、期末には各部署の目標達成度合の報告を校長に報告している。	特になし	・事業計画書 ・会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の運営方針を反映した事業計画は毎年度作成されており、各部署では目標を達成すべく定期的に進捗と差異を確認して必要な手立てを講じている。	事業計画は個々の教職員の業務および目標設定と密接に関連しており、学校の目標達成の可能性を高めている。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

2-4　運営組織

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
2-4-1　設置法人は組織運営を適切に行っているか	5	組織運営は適切である。	理事会・評議員会は寄附行為に基づき適切に開催し、必要な議決を行い、記録に残している。	特になし	・理事会決議録／議事録 ・評議員会決議録／議事録 ・運営会議議事録
2-4-2　学校運営のための組織を整備しているか	5	職務分掌と責任は明確になっていて、運営組織図も作成している。	職務分掌と責任に関する規定があり、教職員に配布されている。また、運営組織図はイントラネットなどを通じて教職員に配付されている。	特になし。	・諸規則集 （組織及び職務分掌規程） ・運営組織図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会・評議員会で決議された内容は、本部長・校長の下で開催される運営会議で伝達・説明され、部長・課長などの各階層でも適切な意思決定が行われている。また、意思決定が効率的に行えるように、職務分掌と責任に関する規定と各部門・各部署の役割を明示した運営組織図がある。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

2-5　人事・給与制度

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
2-5-1　人事・給与に関する制度を整備しているか	5	人事制度は整備され、適性や考課に基づいての昇進・昇格・採用・異動などが適切に運用されている。	諸規則集の人事考課制度規程に考課要件や昇格要件を明記するとともに、人事システムを通じて適正な運用を行っている。また、指導十訓研修、等級研修などの各種研修により人材育成にも力を入れている。	特になし	・諸規則集 （人事考課制度規程／ 職能等級規程／ 給与規程・退職金規程） ・指導十訓研修テキスト ・等級研修テキスト

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
要員計画、採用計画、教職員研修計画を通じて、人材の着実な確保と育成が行われている。また、人事・給与に関する規定も整備されていて、人事部および人事委員会を中心にして適切に運用されている。	育成に関しては職能等級制度および CD 目標管理制度の下で能力や職務に応じた適切な研修を実施しており、さらに教員においては定期的・段階的な指導力向上研修を実施している。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

2-6　意思決定システム

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
2-6-1　意思決定システムを整備しているか	5	意思決定システムは確立されていて、権限者も明確になっている。	理事会・評議員会・学校運営会議など階層ごとの意思決定システムが存在していて、それぞれの意思決定者とその職務や権限も明確にされている。	特になし	・諸規則集 （寄附行為／ 組織及び職務分掌規程） ・理事会決議録／議事録 ・評議員会決議録／議事録 ・運営会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会、評議員会、学園本部、学校と階層ごとに意思決定システムが確立されており、意思決定者による決定内容はイントラネットやグループウェアなどを用いて速やかに伝達されている。	

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

2-7　情報システム

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
2-7-1　情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	5	情報システムの導入により業務の効率化が計られている。	学生管理・授業料管理・人事給与管理など多くのシステムを導入して、正確で迅速な対応を可能にしている。	特になし	・学生管理システム運用マニュアル等

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校における管理システムの多くはすでに導入されており、現場の業務を正確に迅速に行うことに大いに役立っている。また、ニーズの変化にもいち早く対応できる体勢も整っている。	主な管理システムは学園全体で導入していて、システム開発は学園内部の情報システム部門が担当している。そのため、現場のニーズを充分に取り込んだシステムとなっている。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

基準３　教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の教育目標・育成人材像は、業界が求める人材像を目標として体系的に教育課程が編成されている。 入学時より各学科において、「入社後、即戦力として活躍する」ために必要な人材になることを目標とし、そのために必要なスキル習得の必要性を動機付けしている。卒業までの教育期間で行う資格試験などの目標を明確にすることで、学習意欲向上を図っている。今後も業界ニーズの把握に努め、時代の変化に対応できる教育目標を立てていきたい。 また、スキル習得にあたっては、各種検定試験・資格習得・技術習得を目標として、体系的な教育課程を編成している。各科目の教育期間においてもテストなどの実施により学生が習得状況を実感できる機会を設け、「日々成功体験が実感できる」教育課程を作成している。今後も検定試験の変更や入学生の学力変化に対応できるように、定期的な見直しを図っていきたい。	

3-8　目標の設定

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	5	教育課程の編成方針、実施方針を定めている。	学園の教育理念が具体的な言葉で明文化され教職員への周知がされている。 入社後、即戦力として活躍する人材の育成を達成するため、時代のニーズに合せた教育課程編成や、コース設定を行っており、HP でも広く公表している。	特になし	・教育 COMPASS ・HP
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	5	明確になっている。	各学科で入学段階にてガイダンスを実施し、教育目標、将来像を明確にしている。	特になし	・コースガイダンス資料 ・就職ガイダンス資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、教育課程を編成するに当たり、卒業生の内定先企業を中心にアンケートを実施し、教育課程に反映させることで、時代のニーズに合った教育の提供をグループ校と同様に行う。 また、各学科の教育目標、育成人材像は、分かりやすい言葉で、できるだけ具体的に示している。	入学段階のガイダンスで、各学科の教育目標、育成人材像を明確に伝えることで、その後の学習に対する意識向上に役立てている。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

3-9　教育方法・評価等

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	学科毎の教育目的・目標達成に向け、体系的に編成している。	関連企業等にアンケートを実施し、教育課程に反映させ、時代のニーズに合った教育を提供している。	外部者の意見を取り入れながら教育課程へ反映させているが、より活発に行いたい。	・学習カリキュラム
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	4	毎年、反映している。	企業へのニーズ調査や試験委員の研究を行い、その内容をカリキュラムに反映させている。	外部者の意見を取り入れながら教育課程へ反映させているが、より活発に行いたい。	・学習カリキュラム ・PCP アンケート
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	4	検証含めて行っている。	学科別ｶﾘｷｭﾗﾑの実習授業及び入社準備ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを統一的に実施。卒業生入社後ｱﾝｹｰﾄ実施により教育効果を検証。	対人関係能力について学生資質に応じた教育内容の再構築。担当職員への情報共有と教育内容への反映を継続。	・入学案内パンフレット ・入社後アンケート
3-9-4　授業評価を実施しているか	4	積極的に実施している。	学生等へは一定の方法で評価を実施している。 また、関連企業等より成果物の評価をいただき、教育課程に反映させている。	外部者の意見を取り入れながら教育課程へ反映させているが、より活発に行いたい。	・授業アンケート ・学習カリキュラム

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程は、体系的にステップアップできるものになっている。定期的な見直しに当たっては、関連企業等へのアンケートを基に、教育課程の検討をグループ校と同様に行う。 また、学生に対して定期的に授業アンケートを実施し、講義方法の改善をおこなっている。	理解しやすい項目から体系的にステップアップできる内容で構成され、ミニテストで理解度を学生が認識するようになっている。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

3-10　成績評価・単位認定等

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	5	科目毎のテストを定期的に統一的に実施している。	科目毎統一的な試験を実施し、客観的な点数を基に評価を実施している。	特になし	・学生便覧
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4	全国で実施している卒業研究においては、企業人事担当等に一定の評価を得ている。	卒業研究においては、コンテストを実施して、成果評価を企業の人事担当や現場担当者に依頼をしている。	企業担当より実学としての高い評価を得ており、採用実績にも反映している。引き続き教育内容の維持、改善に努める。	・実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定は客観的な方法で常に明確に行っている。 毎年卒業生の入社後状況調査を実施することで、教育カリキュラムの見直しに役立っている。また卒業研究については、研究内容設定から成果評価まで企業に協力いただき、現在のビジネス現場に応じた実践的内容で実施することができている。	単位互換に関して、当校で実施した科目を他大学等で認定する制度が実施されている。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

3-11　資格・免許の取得の指導体制

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	5	入学案内パンフレットおよび各種ガイダンスにて常に明示している。	資格取得教育には常に万全の指導体制を敷いている。	特になし	・入学案内パンフレット ・ガイダンス資料
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	5	日々のチェックテスト・各種答案練習など資格取得のための万全の体制を整えている。	全科目・全教科につきテキスト・問題集・テストを準備している。	特になし	・入学案内パンフレット ・各科目の使用教材

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得には万全の体制を整えている。	

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

3-12　教員・教員組織

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	目標達成に必要な要件を備えた教員は確保できている。	採用活動、各種研修、上司による日々の指導が十分に機能している。	育成がより計画的に進むよう、手法の改善を常時検討していく必要あり。	・募集要項 ・V-CAT 診断結果 ・指導十訓研修テキスト
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	4	専門性、教授力の把握・評価は適宜行っている。 各能力を向上させる研修も定期的に実施している。	定期的に学生アンケートを実施するほか、上司の講義聴講等により把握・評価を行っている。 研修等では、学科ごとに目指す試験の制度や業界ニーズにあわせて実施している。	左記のうち、上司の把握・評価は、制度化されたものではないため検討が必要。	・学生アンケート ・教職員研修規程 ・IST 研修レジュメ
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	4	組織体制を整備している。	事業計画等でそれぞれの業務分担を明確にするとともに情報共有も行われている。 非常勤講師へも、一定の責任と業務を与えている。	常勤講師が仲立ちすることで非常勤講師間の協業体制も充実させたい。	・事業計画書等

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の確保については、常勤講師・非常勤講師を問わず、採用・育成・評価の各段階において、目的達成のための体制がほぼ出来上がっている。一部、不十分な点を残すが今後の課題としたい。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

基準４　学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の教育成果については、大きな柱である「就職」「資格取得」ともに当初の目標を十分に達成できていて、かつ向上を図るためのデータ収集と継続的な検討を重ねている。 就職に関しては、内定獲得ではなく、「入社後、即戦力として活躍する」事を目標として、入学当初より動機付け及び指導を行っており、その集大成として内定後教育（PCP）の開発を行ってきた。今後も企業側のニーズに基づき内容等の充実を図るとともに、競合他校との差別化として、単なる就職実績（数値）だけではなく、教育内容を保護者、高校（教員）、企業担当者へよりアピールしていきたい。 また、各種検定試験・資格取得に関しては、近年の政治・経済情勢のめまぐるしい変化に応じて、試験傾向や試験範囲だけでなく、試験制度そのものの変更が行われるケースも増えている。このような状況の中で、継続的・安定的な合格実績を達成していくために、変化に対応した高品質な教材をタイムリーに開発するとともに、学生を合格に導くための知識・指導力を身につけた担当者の育成に力を入れていきたい。	

4-13　就職率

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
4-13-1　就職率の向上が図られているか	5	向上が図られている。 就職希望者数、就職者数及び、各コースにおける就職率の把握はできており、学内実施の各種就職説明会が内定に繋がっている。	各校毎に目標設定。学園本部にて全国同一のシステムで就職活動状況の一元管理を行い、各校の達成状況をリアルタイムに確認。	未就職者率の更なる改善と現状の正社員雇用率維持。情報入力業務効率とセキュリティ精度を更に高めたシステムの構築。	・入学案内パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職希望学生への就職指導においては、教務及び就職専任スタッフが個別面談を進め、学生個人の資質、適性及び能力と属性を十分に考慮した指導を実践して、入社後を見据えた業界・職種への就職が実現できている。 また、それらの達成状況（就職率）は学園本部で管理されている。	・フリーター、非正規雇用の進路決定者を出さない。 ・内定ではなく、入社後を目標とした実践教育を実施。 ・学生の適性と能力に合った企業選びを実践。 ・担任が各学生の進路相談から受験指導、進路決定まで担当。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

4-14　資格・免許の取得率

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
4-14-1　資格・免許の取得率の向上が図られているか	5	向上が図られている。	資格取得者を多く輩出するために学習カリキュラムや指導方法を研究している。	特になし	・学校案内（パンフレット） ・結果集計表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
単なる資格取得が目的ではなく、就職活動が有利になる資格や社会人になるにあたり必要であろう資格を厳選している。資格取得者を多く輩出するためにカリキュラムや指導方法の研究も行っている。今後も引き続き、就職活動に有利になる資格を研究する必要がある。	

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

4-15　卒業生の社会的評価

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	4	評価を把握している。	卒業生の入社後調査を毎年実施して、入社後の状況を確認している。	対人関係能力については、現在の学生資質に合わせた教育内容の再構築を進める。	・入社後アンケート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年卒業生の入社後状況調査を実施することで、教育カリキュラムの見直しに役立っている。また卒業研究については、研究内容設定から成果評価まで企業に協力いただき、現在のビジネス現場に応じた実践的内容で実施することができている。	・卒業生の入社後の状況をアンケート及び訪問・メールにて調査。 ・上記調査内容を進路指導及び教育プログラムに反映。 ・卒業研究の成果評価は、企業の人事、現場担当者が実施。

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

基準５　学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の教育の充実を図ると共に、さまざまな面でのサポートの充実も学園生活では大切なことであるが、これらも含めて概ね学生の満足が得られている。 就職支援、学生相談、経済的支援、健康管理、課外活動等、学生支援の体制が整っている。カウンセラーや健康相談など、専門的な人材が必要とされるような傾向が社会的にあるが、現状担任との結びつきを強め、個別相談や就職相談などを行っている関係上、専門的人材が現在の教育体制の中で必ず必要か否かは、明確ではない。将来的には、社会的な動きやニーズから検討していく必要はある。 保護者との連携は、学校・家庭との連携をベースに学生指導を行っているため、既に体制として構築されている。今後は更にその連携を強化していくことで、安心を与えていかなければいけない。 卒業生への支援は、同窓会が存在していないが、卒業生のニーズと帰属意識および学校としての有用性を鑑みて、検討していくものである。求人斡旋では中途求人などの斡旋が可能であるが、制度としては整っているものでない。今後、離職率の確認等を下に、卒業生のための就職活動支援を考える必要がある。	

5-16　就職等進路

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	担任制度の下、具体的な活動指導、学内においての各種就職説明会開催等、就職支援体制は整備されている。	就職教育として、入学から卒業までのカリキュラムが整備されており、毎年実施内容の見直しを実施。	内定率 100％と幸せな就職の実現を目指し、効果的な指導を実現するための情報収集を継続して実施。	・内定率（民間・医療機関） ・公務員任用率 ・授業カリキュラム ・配布教材

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職は教育の大きな目的であり、そのための整備はある程度済んでいる。 カリキュラムの一貫として就職に関する準備が一通り行われている。また、それに伴い早期の内定獲得をグループ校同様に実現する。 今後は、内定率 100％を目指すとともに、卒業までを意識した内定後教育の充実が大きな課題となる。	特筆すべき就職内定状況から、その指導体制及び、フォローアップ体制が現段階では十分であると考える。

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

5-17　中途退学への対応

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
5-17-1　退学率の低減が図られているか	4	低減が図られている。	退学率の低減は事業部計画における最重要課題の１つとして取組んでいる。	教員の学生指導力（コミュニケーション能力）の向上、事例に基づく指導方法の確認、担当者間の情報共有を実施している。	・退学率一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率の低減は入学者の確保と同様、事業部計画における最重要課題の１つとして取組んでいる。学生が退学を希望するきっかけとなる時期・理由は多様化しており、今後は学生指導勉強会の定期的な実施等、担当者の更なる能力向上に向けた取組みが必要である。	

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

5-18　学生相談

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	5	定期的に担任が個人面接を実施し、学習目標の確認や学習に関する悩み等につき対応できており、学生相談室開設の必要性は感じていない。	逐次上司への報告があるため、担任だけでなく同部署の教員が共通認識を持っている。	若手教員の学生相談スキルを上げる。	・指導記録
5-18-2　留学生に対する相談体制を整備しているか	NA	在籍なし	なし	留学生の受け入れを検討している。	なし

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談については、学生のシグナルを担任が見逃さずにキャッチし、その都度対応している。また、節目ごとに全員と個別面接を行い、今後の進路、目標確認、悩みなどを聞きだし対応している。その結果を指導記録にまとめ、上司に報告も行うなどの細やかな指導を実践している。	本学園では、カウンセラーによるカウンセリングの必要を要する事態になることが不適切であると考えている。初期段階で担任が学生が発するシグナルを察知し、解決していくことが重要である。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

5-19　学生生活

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
5-19-1　学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	充実が図れている。	試験・資格・スポーツの成績など本人の努力に報いるために種々な制度が確立されている。 また、保護者・学生からの申請に基づき、学費の分割納入、延納などに応じている。	時代にあった対応を心がけていく。	・募集要項
5-19-2　学生の健康管理を行う体制を整備しているか	5	年 1 回の健康診断を実施している。	学校指定の医療機関等に依頼し,健康診断を実施している。	特になし	・健康診断お知らせ
5-19-3　学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	5	十分な対応ができている。	不動産会社と提携し、学生負担を軽減する為、より安価なプランで賃貸物件を紹介する体制を取っている。	特になし	・寮学生マンション紹介チラシ
5-19-4　課外活動に対する支援体制を整備しているか	5	クラブ活動は積極的に実施、大会参加も行なわれている。 ボランティア活動については学生の希望者のみ実施している。	全国専門学校体育連盟主催の各種大会に出場している。 また、地域清掃ボランティアやさんさ踊りに参加している。また、活動支援も積極的に実施している。	今後、活動クラブ数を増加させていくことを検討中である。	・入学案内パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
より多くの学生が就学できるように、経済面、環境面などについて支援体制を整備している。 今後もニーズに合わせ、必要な支援体制を整備していく。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

5-20　保護者との連携

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
5-20-1　保護者との連携体制を構築しているか	4	欠席の多い学生、就職等厳しい学生など、問題を抱えている学生に対しては適宜連絡を行っている。	打合わせの際にチーフまたは管理者が状況を把握し、適宜保護者への連絡等の指示を行っている。	協力的でない保護者との連携方法が課題となっている。	・指導記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者への連絡については定期的に行っている。特に、規定の家庭宛注意文書が発送される前については確実に保護者への連絡を義務付けている。必要に応じて保護者に来校していただき、面接も行っている。しかし、業務時間内に連絡を取る事が難しかったり、理解を得られない保護者も年々増えているのが現状であり、担任の負担が増している。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

5-21　卒業生・社会人

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	3	相談があった場合には、資格取得や再就職に関しても積極的に対応している。 なお、同窓会は設置されていない。	資格取得に関する卒業生割引制度。就職部による再就職支援を実施している。	同窓会発足に向けてOB･OGに働き掛けていきたい。	なし
5-21-2　産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	5	再教育プログラムの開発実施に取り組んでいる。	卒業生の学び直しなどのニーズに対して、様々な附帯教育を設け、卒業生および社会人の学びに対する支援を行っている。	社会ニーズについて関連企業等から情報収集し、より効果の高いプログラムを開発する。	・学則
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	整備に取り組んでいる。	在学の就労学生に対しては就労状況による個別補講や夜間自習室の開放を行っている。 また、附帯教育を充実させることで、社会人の様々なニーズにも対応している。	特になし	・学則 ・附帯教育パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生への支援体制としては、担当教員を窓口に問い合わせに応じて対応している。担当教員と上司や他の教員、関係部署間の連携により、可能な限りのフォローアップを行い、卒業生の満足も得られている。 また、大学卒業者や社会人などのニーズにこたえる制度の開発をさらに進めていく。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

基準６　教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業までの間、学習を進めていく中で、時代にあった教育課程を実践することが、学生または保護者の方々を満足させることになる。 そのためには、その教育課程を遂行するための教育設備ならびに学習環境を整えなければならないのは当然である。 しかし、整備をするためには資金が必要であるが、その調達が難しいのが現実である。国や地方公共団体が、専修学校に対し大学や高等学校と同様の支援をしてくれることを希望する。 また、教育環境が整えられたとしても環境維持をしていかなければならない。それを担う人的な教育も疎かにしてはならないと考えている。	

6-22　施設・設備等

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	十分対応できている	業者等との連絡先が明確になっており、メンテナンス体制が整っている。また、時代にあった設備設置等を心がけている。	特になし	なし

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備に関しては、ほぼ十分な対応ができていると思われる。今後もこの体制を崩さないように教職員の意識を高めながら維持していきたい。	

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

6-23　学外実習、インターンシップ等

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	実習や研修等の参加については事前に外部機関と実習内容や研修内容の打合せを行い、期間中は事故やトラブルにならないように十分注意している。	実習期間中や研修期間中は職員が訪問、同行し、現状を把握している。	実習等については実習先が異なることで、同一環境下で実習が出来ないことから、実習内容に多少ばらつきがある。	・実習および研修資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実習等や研修の参加にあたっては、事前にガイダンスや説明会等を設け参加する目的等をしっかりと伝えている。また、実習・インターンシップ参加前はトラブルにならないよう校内において受入先を想定し、実践トレーニングを行うとともに目的確認を行っている。 研修については説明会を多く設定し事故やトラブルを防ぐように努めている。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

6-24　防災・安全管理

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
6-24-1　防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	マニュアルを準備し、災害時のルールを確認している。	職員より各クラスで災害発生時のルール確認を実施し、災害に備えている。	行政からの指示も含め、現状に合わせた防災マニュアル変更を適宜行う。	・防災マニュアル ・避難経路図
6-24-2　学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	体制が整えられている。	一般的な火災保険や設備保険は勿論のこと、行事および実習時の保険加入・緊急連絡体制などが整えられている。	地震保険など更なる災害に対しての保険加入を検討する。	・加入契約書 ・連絡体制書類

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保険等の加入については十分なものになっているが、それ以前の物的および人的な備えに関して、これから対応を施していかなければならない。 また、段階的に防災用品の備蓄を行う。	

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

基準７　学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
１８歳人口減少の中、教育成果を学生募集活動に繋げられるよう工夫を凝らし、維持発展を続けている。 その中で、世の中に出てから役に立つ、真の教育カリキュラムと施設・設備を整え、学生のみならず保護者の方々が満足する教育が準備できている。 これらのことをしっかり伝えられるように、学生および保護者対応を準備し、正しい進路選択ができるように学生募集を行う。	

7-25　学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
7-25-1　高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	5	積極的に取り組んでいる。	学生および保護者が入学判断に必要な情報を入手し、明確に正確にその情報を学校案内で提供し、進学相談会や学校訪問にてさらに詳細な説明を行っている。	特になし	・入学案内パンフレット ・募集要項 ・アンケート
7-25-2　学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	5	適切かつ効果的に行われている。	入学判断に必要な学校案内を目的別に制作している。また、応募に際して詳細内容が書かれている募集要項や学校独自のホームページがある。	特になし	・入学案内パンフレット ・募集要項 ・大原学園ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
将来を意識した学生および保護者に対して、的確な情報を伝え、進路選択について過ちを起こさないようにさせたいと考える。また、高校側に対しても志願者について現状の認識と将来への展望を伝え、進路選択に役立ててもらいたいと考える。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

7-26　入学選考

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
7-26-1　入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	5	整備されている。	年度ごとに基準確認を行い、統一を図っている。	特になし	・募集要項
7-26-2　入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	把握している。	学生情報を一元管理している。	特になし	・学生情報データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生一人ひとりに対して、書類選考を必ず行っている。また、必要に応じて面接等を実施し、入学後進路変更がないように事前確認を十分行っているこの体制を維持していく。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

7-27　学納金

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
7-27-1　経費内容に対応し、学納金を算定しているか	5	妥当なものになっている。	同分野の専門学校の状況も踏まえ、妥当な金額になっている。また、納期も分割され負担にはなっていないはずである。	特になし	・学校案内 ・募集要項
7-27-2　入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	5	適正に処理されている。	平成 18 年度文部科学省告示の趣旨に沿って適正に処理されている。また、3 月 31 日までの入学辞退希望者に対しては、入学金を除いた授業料等の金額を返金する旨を募集要項へ記載している。	特になし	・募集要項 ・学費返還規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育費に関しては、多くの家庭で優先順位が高い項目になっている。したがって、学費に関しては教育材料費等と常に確認をしながら負担にならない金額を設定するように心がけていく。また、学費納入に対しても滞ることがないように状況を確認していく。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

基準８　財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
予算計画は理事会において目的と有効性が審議され、有効かつ妥当なものとなっている。また予算の執行は運営会議により定期的に状況の確認が行われている。このように、予算の計画と執行は適切に行われているが、予算執行に関する規定はなく、今後の課題である。 私立学校法第３７条の学校法人監事による業務監査および会計監査を受け、学園運営が法令または寄付行為への遵守性が確保されるように努めている。また、私立学校振興助成法第１４条３項による公認会計士による会計監査も受け、財務の適正性をさらに高い次元で確保している。 さらに、平成２１年度からは財務部門から独立した立場である内部監査準備室を設け、監事監査および外部監査と連携を取り、学園の財務の適正性を日常レベルから確保するようにしている。 現在、学園の財務情報はWEBでの閲覧が可能となっている。	学園所属の学校数が非常に多いため、学園全体の財務情報を公開している。

8-28　財務基盤

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
8-28-1　学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	5	財務基盤は安定している。	学園全体の財務基盤は強固であり、新設校が軌道に乗るまでの支援体制は確立している。	特になし	・消費収支等の財務資料 ・理事会資料
8-28-2　学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	5	主要な財務数値は把握分析されている。	財務部および内部監査室で主要な財務数値は月次・年次の把握分析がなされ、理事会で確認されている。	特になし	・消費収支等の財務資料 ・理事会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定員充足に至ってはいないが、潜在入学者（保護者）、高校教諭等の認知度は着実に高まっており、今後は、入学者増加傾向が見られる。なお、財務基盤は安定している。	全国に多数の学校を設置している学校法人であるが、法人全体でも財務基盤は安定している。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

8-29　予算・収支計画

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
8-29-1　教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	5	本部・学校の教育目標などと整合性を図り、予算が作成されている。	予算は本部・学校ごとの業務計画に基づいて作成され、財務部でのチェック後に理事会での承認が行われている。	特になし	・予算計画書 ・理事会決議録
8-29-2　予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4	予算は計画に基づいて適正に執行されている。	執行は本部・学校ごとの運営会議で決済者の承認の下で行われている。	年度ごとに予算を立てて執行しているが、予算および執行に関する規程はないので今後準備をする。	・予算計画書 ・運営会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
当年度の重点計画、前年度実績予想との整合性を保ち、健全な予算編成をしている。また、執行については定期的に運営会議などで執行状況を確認している。	予算編成に当たっては、教育効果・学生満足度の向上に主眼を置き、教育現場の意見を大きく反映している。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

8-30　監査

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
8-30-1　私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	5	会計監査は実施スケジュールに基づき適正に行われている。	教育機関の公益性を重視し、監事による監査とともに、内部および外部の会計監査人による監査を実施している。その際の責任体制は監査契約書に明記してある。また、実施スケジュールは外部会計監査人とともに過去の監査実績を踏まえて作成している。	特になし	・監査契約書 ・監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校法人監事による業務監査とともに内部および外部の会計監査を受け、法令または寄付行為への遵守と学園の財務の適正性を、確保するようにしている。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

8-31　財務情報の公開

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
8-31-1　私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	学園の情報公開規定に基づき主要な財務情報の公開はできている。	財務諸表のうち、消費収支計算書・貸借対照表等に関しては各校への申請書提出で閲覧可能であり、学園の WEB にも掲載している。	今後は、情報公開の趣旨を踏まえ、さらに多くの情報を公開できる仕組みを構築する。	・財務情報閲覧申請書 ・学園 WEB サイト

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学園全体の財務情報は WEB サイトで公開されているが、刊行物あるいは学内掲示での公開に関する規程がないため、規程の準備を今後進めていく。	学園所属の学校数が非常に多いため、学園全体の財務情報を公開している。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

基準９　法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校教育法、専修学校設置基準などの関連法令に基づき、学校法人の寄附行為に則り、適切な運営がされており、諸規則集や学則等の文書化を通じて教職員への周知が計られている。 個人情報の保護については、平成１６年から開始した情報セキュリティ活動の一環として、全面施行の平成１８年４月からはプライバシーポリシーを掲げて個人情報保護法の遵守をしている。また、情報セキュリティ委員会が中心となり、運用監査と新たな安全管理措置の追加が行われている。 自己点検・評価は今後も継続して実施していく方針である。また、問題点の改善は点検・評価の結果を踏まえ、重点項目を挙げて取り組んでいる。さらに規程類も実施状況や法令などを考慮して実効性の高いものとしていく。 自己点検・評価報告書は設置コース等の違いにより公開方法も異なっていて、現在は申請による印刷物の閲覧と WEB での閲覧があるが、その閲覧範囲に制限はない。	

9-32　関係法令、設置基準等の遵守

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
9-32-1　法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	適正な運営を行っている。	学園本部がリーダシップをとり、規程や届出書の変更をしている。また、入社時に法令遵守の研修を行っている。	今後は教職員とともに学生に対しても定期的・継続的に実施できるよう検討する。	・諸規則集 ・学則 ・各種届出書 ・研修資料

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学園本部が中心となり、法令に対して速やかに対応できる体制を採っており、遵守に必要なものも文書化している。今後は教職員および学生に対して、定期的・継続的に実施できるよう検討を進める。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

9-33　個人情報保護

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
9-33-1　学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	個人情報保護のための対策を実施し、教職員に対し遵守を徹底している。	個人情報保護も情報セキュリティの一環として規程が存在し、個人情報保護法の安全管理措置を中心に保護対策を実施している。 また、入社時に教職員に対して規程の遵守を徹底している。	・安全管理措置をさらに強化する。	・情報セキュリティポリシー ・プライバシーポリシー

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護については情報セキュリティ委員会の下に、各部門・各校に管理者を配して、保護活動を徹底している。また、全国会議で説明会を催すなど、周知徹底を図るとともに対策の実効性を高めている。	全ての学校で情報セキュリティの一環として個人情報保護に努めている。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

9-34　学校評価

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
9-34-1　自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	自己点検・自己評価を毎年実施し、問題点の改善に努めている。	自己点検・評価は毎年実施していて、改善活動は重点項目を挙げ、校長の管轄下で行われている。	改善の実施を確認し、報告書として提出する。	・自己点検・評価報告書
9-34-2　自己評価結果を公表しているか	5	教職員、その他関係者に公開できる体制を採っている。	自己点検・評価報告書は申請により閲覧が可能で、その範囲は全項目となっている。 また、ＷＥＢにも掲載している。	特になし	・自己点検・評価報告書 ・ＷＥＢサイト
9-34-3　学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	NA	職業実践専門課程の要件に従い、今後は学校関係者評価を実施する。	職業実践専門課程申請に向け、評価委員の選定を進めている。	特になし	・自己点検・評価報告書
9-34-4　学校関係者評価結果を公表しているか	NA	学校関係者評価実施後は、公表する。	グループ校において、学校関係者評価報告書はWEBに掲載している。	特になし	・自己点検・評価報告書 ・WEBサイト

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・評価報告書は申請があれば全項目を閲覧できる体制になっており、WEBにも掲載している。 学校関係者評価は職業実践専門課程の設置要件となるため、評価委員の選定をはじめ、準備を進めている。	WEBでの分かりやすい公開方法が必要となる。

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

9-35　教育情報の公開

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
9-35-1　教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	学校の概要や教育内容は公開している。	学校の概要や教育内容はWEBに掲載しているが、教職員に関する情報はその対象となっていない。	情報公開の内容と方法については今後改善を進めていく。	・WEBサイト

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の概要や教育内容はWEBに掲載しているが、教職員に関する情報はその対象となっていないので、情報公開の内容と方法について今後改善を進めていく。	学園所属の学校数が非常に多いため、WEB での分かりやすい公開方法が必要となる。

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

基準１０　社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
大原の教育は社会的に高い評価を得ており、その中には幅広い年齢層に対し、様々な教育サービスを提供している附帯教育事業や留学生のための学校も含まれている。これらの教育における社会貢献についてさらに充実を計るとともに、今後は地域への貢献や世界規模での貢献も積極的に視野に入れ、広い意味での人格教育として展開を進めていきたい。	

10-36　社会貢献・地域貢献

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
10-36-1　学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	生涯学習事業や附帯教育事業を行っている。	附帯教育事業を通じて、幅広い年齢層に対して教育サービスの提供を行っている。通信講座も幅広く展開している。	オープンキャンパス等、新たな教育サービス等を検討する。	・パンフレット
10-36-2　国際交流に取組んでいるか	4	学校間の連携はないが、学園グループの中には留学生を受け入れるコースがあり、さらには、留学生のための日本語学校がある。	学園グループの中には、留学生を受け入れるコースがある。また、留学生のため「大原日本語学院」を設置している。	一部コースで留学生の受け入れを検討している。	・入学案内パンフレット ・HP（ホームページ）

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
従来より附帯教育事業は積極的に行っており、今後も幅広い年齢層で様々な分野の教育サービスを提供できるようにしていく。また、地域への貢献は施設の提供だけでなく学校の特色を活かしたものも提供したいと考えている。さらに地球温暖化対策は対策効果の基となる校舎の管理運営を徹底したい。	

＜活動状況＞　5：完璧　　4：かなり進んでいる　　3：普通　　2：やや足りない　　1：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない

10-37　ボランティア活動

小項目	活動	現状認識	現状認識の根拠	課題／改善方策	参考資料
10-37-1　学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	学生の希望者に限定して実施している。	学生のボランティア活動については、地域の清掃活動や介護施設のイベント補助など学生の希望者に限定して実施している。 活動に当たっては、活動報告書を提出させ、個人別に状況を把握している。	地域の清掃や安全に関する活動なども奨励していきたい。	・ボランティア報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ボランティア活動は学生の希望者のみ地域のイベント補助や清掃活動等のボランティアに参加している。また、活動報告書により個人別にボランティア時間を把握している。	

＜活動状況＞　５：完璧　　４：かなり進んでいる　　３：普通　　２：やや足りない　　１：ほとんど進んでいない　　NA：当てはまらない